

エコニュース さって



第 47 号

平成 25 年 2 月 18 日
幸手市市民環境会議
(さって市民環境ネット)
TEL48-0331

市民環境講座 報告：高久 第 1 回 環境学習見学会

平成 24 年 1 月 22 日 (木)

コース 幸手市役所 (参加者 31 名) → ① キッコーマン「もの知りしょうゆ館」(野田市) → 清水公園 (散策&昼食) → ② 日本工業大学環境施設視察及び技術博物館見学(宮代町) → 幸手市役所

昨年度に引き続き今回も、上記コースによる郊外学習会を 31 名の参加者を得て開催されました。午前 8 時に市役所を出発して野田のキッコーマン工場に向かいました。途中、バスの中で”さって市民環境ネット”の本田会長から「食の安全・安心(大豆編)」に関するクイズが行われました。設問については、醤油の原料である大豆と食料自給率に関するものでした。解答の数字を聞いて参加者の中には驚いていた方もいました。

① キッコーマン「もの知りしょうゆ館」見学

キッコーマンは今から約 350 年ほど前の江戸時代に現在の野田市で醤油づくりが始まりました。野田は地理的に醤油を作るのに適した土地でした。原料の大豆や小麦が関東平野で沢山とれ、塩は江戸川を利用して船で運ぶことが出来ました。醤油の消費も江戸が近くにあり、地の利を生かして大いに繁盛し現在に至っています。館内では、最初にビデオによる醤油の出来るまで(6ヶ月～10ヶ月)の説明をいただきました。作業工程は3つに分かれています。①発酵期(大豆+小麦+種麹+食塩水=仕込み) ②熟成期(もろみ) ③仕上げ(搾る・検査・容器に詰める) 今日、工場内では発酵期の作業中(衛生上)で見学できませんでしたが、熟成されたもろみのサンプルを見たり搾る機械は見る事が出来ました。原料の大豆は国産は茨城、外国はアメリカ、小麦は群馬、アメリカ、カナダ、塩は国産とメキシコが多いとのことでした。食料自給率が40%のわが国では、外国原料を使用しなければ製品が出来ないのが良く理解できました。館内では、3種類の醤油の味比べも出来ました。伝統の醤油を近代化した設備で作る様子を見る事が出来ました。次に向かう途中、もみじ色づく清水公園で、昼食タイムと散策を楽しみました。



工場内の見学



全員での記念撮影



清水公園内の金乗院

② 日本工業大学環境施設視察及び技術博物館見学

当校は、明治40(1907)年に東京工科大学として創立した100年を超える伝統を有する大学です。今から40年前に宮代町に移転し現在に至っています。7学科に4000名以上の生徒が勉学に励んでいます。今回は、エコ大学ランキング総合第1位の実績を誇る太陽光発電システムの施設を見学しました。校舎の屋上一面に張られたソーラーパネルは最大で523Kwhの発電能力を有することが出来るそうです。当日は午後2時の時点で蓄電492Kwhでした。これは一般家庭の約40世帯分の電力だそうです。又、エコ

の観点から一つの食堂（約 1 5 0 0 人利用）から出る生ごみ約 8 0 K g の肥料化も機械化されていました。技術博物館は、昭和 6 2（1 9 8 7）年に学園創立 8 0 周年記念事業として大学キャンパス内に開設されました。館内には、日本のものづくりの歴史的な名機が多数展示してあります。NHK 朝のドラマ「梅ちゃん先生」の初回放映のセットになった工作機械を作業している場面の町工場、出力 1 0 万 K w のガスタービン発電機や明治 2 4 年製の蒸気機関車は今も稼働しています。こうした数々の中で 1 7 8 点が国の有形文化財として登録されています。日本の近代産業発展の一部を見たような感じで大いに勉強になりました。参加者からは次回も是非参加したいとの声も多く聞かれ有意義な一日でした。



発電システムの説明



屋上のソーラーパネルの見学



工作機械の見学

腐葉土づくりの会活動報告 報告：澤村

第 91 回 前年の熟成腐葉土は皆使い切りました！

今回は 3 基の切返しと落ち葉仕込みを実施しました！ タマネギは順調に生長しています！



12 月 16 日（日）10 時、連日、寒さが続いていましたが、久しぶり 17℃と一ヶ月戻った暖かい晴れの下で 26 名が参集して作業を行いました。

冒頭、会長の挨拶の後、今年は例年と比べて多い 8 名の新人の入会があったため、連絡網を更新しましたが届かない人が発生していることから各グループ内の顔合わせを行うと共に一部グループ編成を見直しました。

その後、事務局から、前回（11 月 18 日）はタマネギ苗植えを予定しましたが、畑がぬかっていたため植えられず、3 日後に有志 11 人の方に植えて頂いたのもそのお礼を述べた後、「今日は衆議院議員の選挙があるので、作業を早く終了したい。」と言って作業案内をしました。

作業内容は、最初に昨年仕込んだ熟成腐葉土の残りを全て袋詰めして床（基）を空にしました。また熟成腐葉土欲しい人に頒布しました。続いて、男性群が中心となり、3 基の全ての切返しの力作業と環境課に桜泉園内から集めて頂いた 50 箱以上の落ち葉の仕込み作業を担当し、女性群は環境課に集めて頂いた桜泉園内の落ち葉（箱）運びと近くの街路地の落ち葉収集を担当しました。そして残った 1 基は全員で新しい落ち葉の仕込み作業と踏込みを行いました。第 1 基目は既に熟成が進んでおり、3 月初めの種ジャガイモ撒き用に使えることを確認できました。なお、発酵菌の栄養分となる米ぬかは新井さんから頂きました。

全員の懸命な共同作業の結果、11 時過ぎに作業が終了し、次回は新年の 20 日（日）、10 時に参集を約束して散会しました。

第92回 晴天、残雪のある寒風の下で3基の切返しを実施しました！ タマネギに1回目の追肥をしました！

1月20日（日）10時から18名が参集して、1月14日（月）の大雪の後、連日の最高気温が5～6℃のため残雪があり、寒風の下で3基の切返し作業を行いました。

今回は、残雪で日影の路面が凍結して足下が悪いため、自転車での往復が危ないので欠席人数が多かったのはやむを得ないと思います。

3基とも切返し時に湯気が立ち発酵が進んでいることが分かりました。水分が消費されて葉が乾いていたためタツプリ水遣りを行いました。また、3月初旬に種ジャガイモを播くために、今年度の最初の熟成腐葉土を畑に撒く準備をしたのですが、残雪のため畑がぬかっていて足下が危ないため道路側に少し置いた程度で止めました。

寒風の中、残雪で足下が悪いため1時間で作業を終了し、次回、2月17日（日）は3基の切返し作業と種ジャガイモを播く前の熟成腐葉土撒きを約束して散会しました。

なお、事務局が1月4日にタマネギに1回目の追肥（化成肥料：チッソ：リン：カリ＝8：8：8）したことを報告しました。2回目の追肥は2月末～3月旬に行う予定です。

市民環境講座 報告：宮田

第2回 平成25年1月28日（月）環境出前講座報告

幸手市権現堂川小学校の5・6年生（20名）の児童を対象にさって市民環境ネットの澤村邦夫さんを講師に、テーマ「包そう（装）のエコについて」の環境講座を開催しました。

講師紹介の後、当日スタッフメンバーの自己紹介を行い講座がスタート。

包そうとはどんな物だろう？その種類と働きについての説明とどうしたらエコになるか！。

会社ができる事（軽量化や詰め替えなど）、自分たちができる事は何だろう？（使った後の分別やりサイクルされている物を選ぶ事）などのお話がありました。

グループに別れての実験では、容器の重さを量ってみることに、（牛乳ビン・缶・詰め替え袋など）今までの重さと比べてエコボトルの重さの比較と水を入れた量の比較を行いました。

結果をグループで発表後、児童から「エコのボトルを作るのにどのくらいの時間がかかったのか」、「どのくらい丈夫なのか」などさすが高学年ならではの質問もありました。

今までのビンは最初は丈夫でも数回使うと割れやすくなり、ガラスの表面にフィルムを張った軽量ビンは軽くて丈夫な事がわかりました。



澤村講師による授業風景



エコボトルの重さを測り比較

第3回 平成25年2月2日(土)「野鳥観察会」報告

いつでも、どこでも、誰でも楽しむことの出来るバードウォッチング！埼玉県生態系保護協会の青柳 進さんを講師に迎え 23 名の参加者と中川や行幸湖の浮島などに生息する冬鳥たちを観察しました。事前下見は12月8日と1月26日の2回行い、コース順路や使用教材の確認をして本番を迎えました。

9時に北公民館を出発、ポイント①の外野橋バルコニーで観察をし、行幸湖から中川の土手沿いに干潟での野鳥を観察しながら高須賀池へ向かいました。休憩後、中川の奥から土手沿いに観察をして北公民館へ戻るコースです。当日の朝は風も冷たく曇り空でしたが約3時間を歩いた参加者の皆さんが戻る頃には日差しもあり、汗ばむくらいになりました。

初めて体験された方も多く、双眼鏡の使い方の指導を受け、鳥の名前を確認しながらカワセミを見つけて歓声もあり、楽しい時間を過ごされた様子が伺えました。



双眼鏡・望遠鏡を使つての観察風景



参加者全員での記念撮影

当日確認出来た鳥の名前（図鑑で探してみてくださいね！）

ヒドリガモ、カルガモ、ハシビロガモ、オナガガモ、コガモ、カイツブリ、カワラバト、キジバト、カワウ、アオサギ、ダイサギ、コサギ、バン、オオバン、イカルチドリ、イソシギ、トビ、ノスリ、カワセミ、コゲラ、モズ、ハシブトガラス、ハシボソガラス、シジュウカラ、ヒヨドリ、ムクドリ、ツグミ、ジョウビタキ、スズメ、ハクセキレイ、セグロセキレイ、オオカワラヒワ、シメ、ホオジロ、カシラダカ。

35種類の野鳥たちに会えました。

【会員募集中！】環境保全活動と一緒にやっていただく方を募集しております。是非、貴方も参加しませんか。〔さって市民環境ネット〕

★問い合わせ・申し込み★ 本田 宏(代表まで) TEL 0480-42-8412

幸手の環境活動グループ：幸手権現堂桜堤保存会、権現堂川地域環境保全協議会、幸手自然愛護会、幸手地産地消研究会、幸手ひがし幼稚園、エコ・グリーン幸手、くらしの会、上高野婦人会、倉松探検隊、幸手中央ロータリークラブ、すこやか「食」の会、子育て支援ねっと、いきがい・はなみずきの会(いきがい大学伊奈学園20期)、エコクラブW32(いきがい大学鷺宮学園32期)